

# 「うふっ♡埼玉でこんなのみつけちゃった♪」展@埼玉県立近代美術館

会期:2017年12月6日-12月10日 会場:埼玉県立近代美術館 一般展示室1(さいたま市)

## 出展作家

平川寛隆、齊藤淳太、高橋香、なお丸、福島尚、川田修、ユキウサギ、小幡海知生、相田大希、小林ちゃん、夕月寛、小原隆、すずきしょうた、大森利浩、堀口孝一、TAKA、金谷ゆり、並木信弘、前田聡男、渡邊あや、安田拓海、西野克、戸田裕人、白田直紀、横山涼、林直登、田村智宥、岩井美和子、本間充広、佐々木省伍、高橋創、高野穂、土屋莉恵、岩瀬賢美、荻原徹、中沢潤、浜林主基、鳥羽直弥、椎橋豊、寺山貴広、織風、阿部香織、高野博史、千葉治暉、杉本健太、木津裕貴、三俣ヒロ子、山口敏夫、拓真、Maya、田中信之、豊満紀彦、高橋裕介、赤星大輔、横田和明、高橋裕子、内藤みひ、大橋まり子、鈴木めぐみ、新堀尚子、齊藤進、ヤマダジュンヤ、高橋恵子、横井雅美、三好進、小林大河、長谷川真一、宮原裕美、藤崎香織、藤井隆亨、村上弘樹、青木悟、清水聡、佐藤みや子、千葉創三郎、新井貴道、橋本佳奈、尾ヶ井保秋、中崎強、高橋典光、野村真優子、SY、大畑桂子、田中俊人、下浅靖之、島田素美子、鎌田健勇、河野大輔、石井章、大倉健、大澤慧、コバヤシカオル、森川里緒奈、マスカラ・コントラ・マスカラ、原口めぐみ、高橋奈美、杉浦篤

## 参考作品



渡邊あや (社会福祉法人みぬま福祉会)

あやさんと言えば、「飛行機」。

でも、自分の表現を見つけるまで、さまよい、悩み、模索し続けてきた。

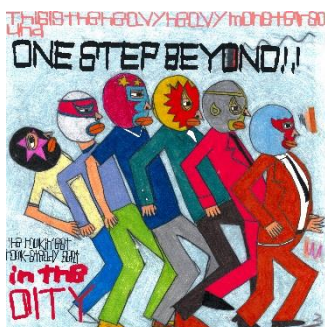
養護学校の修学旅行で行った沖縄。「また飛行機に乗って、沖縄に行きたい」という思いから見つけた飛行機というモチーフ。

心の深いところにある寂しさや満たされなさは多くの人に認めてもらいたい、関わりたいあやさんの切実な願い。



前田聡男 (NPO法人ゆりかご)

2011年10月から熊谷の「ゆりかご」に通所しながら活動している前田さんは、少し照れ屋で恥ずかしがり屋さんですが、ゆりかごに来てから4年以上、自分の世界に入りながら黙々と絵を描いています。前田さんのもっている独特な世界から生み出される作品の数々からは、新鮮な驚きと、新しい発見と、そしてドキドキするような感動が溢れ出しています。前田さんの作品ができる度にゆりかごでは、「へーえー」「ほほオオー？」と不思議な歓声が湧きあがっています。唯一無二の前田ワールド！！是非とも一緒にはまってみませんか？



マスカラ・コントラ・マスカラ (社福) 昴&デイセンターウィズ

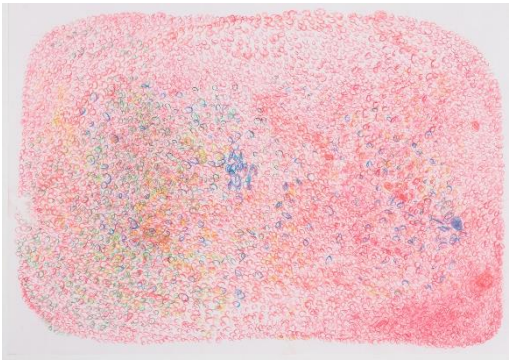
どこかとはげた表情の覆面レスラーの絵を描くのはケンジ氏、独特なカタチの文字を描くのはカズヒサ氏。スタッフがそれらを組み合わせ、ひとつの作品となります。2人の作風でなくては醸し出せないテイストです。作品はTシャツや文具等のグッズにもなり販売されています。

## 出展作家



### なお丸

子供のころから粘土でフィギュアをつくり続けています。2012年の埼玉県障害者アート企画展に初めて出品させていただいたところ、日本風のキャラが面白いと評価されました。最近に至り、僕が作り出すキャラクターを「千変万化」と評価していただく機会もあり、ますます作品作りに励んでいます。将来の夢は「千変万化」のキャラクターを使ったアニメ化です。



### 高橋裕子（埼玉県社会福祉事業団あげお）

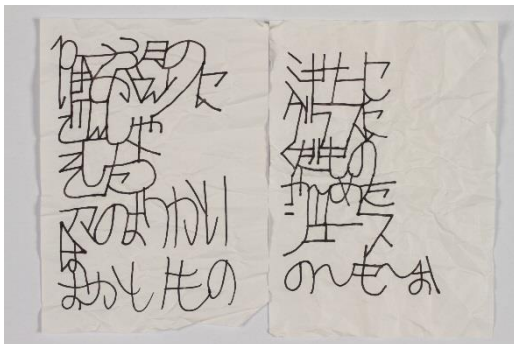
いろいろなことに興味を持っている高橋さんですが、特に絵を描くことが大好きで、活動や余暇の時間に夢中になって絵を描いています。いろいろな色を選んで、思いのままに色を重ねていきます。絵を描いているときの高橋さんの表情は、普段では見せない真剣な目をしてとても素敵です。毎回、どんな作品を描いてくれるのか楽しみです。高橋さんの作品は、手帳の表紙やタンブラーの柄などに活用し商品にして販売しています。



### 宮原裕美（川越いもの子作業所）

一見して圧倒されるその絵は、ボールペンで描かれており、気の遠くなるばかりの細かな模様の組み合わせで構成されています。真っ白な紙にペン先が触れる瞬間、彼女が見ていること、感じていること、想っていること...すべてのイメージが複雑に絡み合いあるいは、零れ落ちるようにひろがっていきます。

異次元で不思議な物のようでもあり、ユニークでポップなものでもあり、また最近では花をモチーフにしながら似顔絵を描くなど繊細で大胆で明るく楽しい魅力的な作家です。



### 小林ちゃん（NPO法人織の音アート・福祉協会）

その日、思うままを描き続けてはゴミ箱にくしゃくしゃまるめて、ポイ。ゴミ箱からうまれたお宝です。彼女の独自の文字や絵の感性に魅了され、今ではとりこになる職員です。

気になることに対しては、とことん自分で納得するまで静かにつき求めます。